

令和3年第3回紋別市議会臨時会（第1日）

1 開会日時

令和3年7月5日（月）

開会 午前10時0分

2 議事日程

日程第1 会期の決定

日程第2 議席の指定について

日程第3 選任第1号 紋別市議会常任委員会委員の選任について

日程第4 議案第1号 専決処分の承認を求めることについて

議案第2号 専決処分の承認を求めることについて

日程第5 議案第3号 令和3年度紋別市一般会計補正予算（第5号）

3 出席議員（16名）

議長	飯田弘明君	副議長	鈴木敏弘君
1番	山崎彰則君	2番	保村幸二君
3番	石井友也君	4番	橋有三君
5番	梶川友子君	6番	野村淳一君
7番	佐藤昌樹君	8番	田中勝彦君
9番	喜多俊晴君	10番	宮川正己君
12番	加藤裕貴君	13番	青木邦雄君
14番	石田久就君	15番	阿部秀明君

4 欠席議員（なし）

5 説明員

市長	宮川良一君	副市長	鈴木英樹君
総務部長	牧野昌教君	保健福祉部長	富樫豪志君
兼新庁舎建設準備室長		新型コロナウイルスワクチン接種推進次長	
産業部長	得永恭志君	新型コロナウイルスワクチン接種推進室長	山本隆博君
兼木質バイオマス火力発電所推進室長			
兼まちづくり整備推進室長			
観光連携室長	岩井智広君	紋別地区消防組合	大谷信一君
		事務連絡室長	
庶務課長	小林昌史君	財政課長	鈴木保智君
兼新庁舎建設準備室参事		兼新庁舎建設準備室参事	

企画調整課長	竹 本 幸 孝 君	社会福祉課長	大 平 一 也 君
児童家庭課長	北 西 忠 宏 君	保健福祉部参事	住 出 晋 一 君
		兼広域病院連携推進室参事	
水 産 課 長	川 代 悦 矢 君	商工労働課長	高 橋 秀 明 君
		兼まちづくり整備推進室参事	
都市建築課長	徳 正 修 一 君	新型コロナウイルス対策回復推進室参事	坂 井 利 孝 君
兼まちづくり整備推進室参事			
観光連携室参事	兼 田 秀 哉 君	観光連携室参事	高 橋 博 明 君
庶務課庶務係長	中 野 弘 貴 君	財 政 係 長	渡 辺 幸 路 君
○教育委員会			
教 育 長	堀 籠 康 行 君	教 育 部 長	佐 藤 健 吾 君
生涯学習課長	山 本 晃 男 君		
○監査委員	村 井 毅 君		

6 議会事務局出席職員

事 務 局 長	黒 木 主 税 君	事 務 局 次 長	細 川 貴 志 君
議 事 係 長	川 勝 亜樹子 君	議 事 係	岡 山 可 奈 君

午前10時0分 開会

○議長（飯田弘明君） ただいまより本日をもって招集されました令和3年第3回紋別市議会臨時会を開会いたします。

本日の出席議員数は、16名であります。よって、開議の定足数に達しましたので、これより会議を開きます。

さきの市議会議員補欠選挙において当選されました石井友也君、佐藤昌樹君を紹介いたします。

まず、石井友也君、登壇願います。

○（石井友也君）（登壇） 皆さんおはようございます。このたび、紋別市議会議員補欠選挙で当選させていただきました石井友也でございます。

今後とも、紋別市のために頑張ってまいりたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。（降壇）

○議長（飯田弘明君） 次に、佐藤昌樹君、登壇願います。

○（佐藤昌樹君）（登壇） 皆さんおはようございます。佐藤昌樹です。

ただいまウィズコロナ時代の中、皆さんがいろいろ働いているというところで、私も飲食店をやりながら、今回、議員に挑戦させていただきました。その代表としながら、全ての働く皆さんのために力になれるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。（降壇）

○議長（飯田弘明君） 以上で新議員の紹介を終わります。

この際、議事の進行上、石井友也君、佐藤昌樹君の仮議席は、ただいま着席の議席といたします。

本日の会議録署名議員には、1番山崎彰則君、8番田中勝彦君の両君を指名いたします。

ここで、事務局職員より諸般の報告をいたさせます。

議事係長。

○議事係長（川勝亜樹子君） ご報告を申し上げます。

まず、本日の配付文書でございますが、本日の議事日程、説明員等報告を配付してございます。

次に、本日の議事日程ですが、日程第1から第5までとなっております。

以上で報告を終わります。

○議長（飯田弘明君） ここで、会派の所属届がございますので、事務局長より報告をいたさせます。

○事務局長（黒木主税君） ご報告いたします。

石井友也議員が市民の声に、佐藤昌樹議員が未来の会に所属する旨、それぞれの会派の会長より届出がございましたので、ご報告いたします。

○議長（飯田弘明君） これより本日の議事に入ります。

日程第1、会期の決定を議題といたします。
お諮りいたします。
本臨時会の会期は、本日1日間といたしたいと思いを。
これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田弘明君) ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

日程第2、石井友也君、佐藤昌樹君の議席の指定を行います。

今回新たに当選されました石井友也君、佐藤昌樹君の議席は、会議規則第4条第2項の規定により、議長において石井友也君を3番、佐藤昌樹君を7番にそれぞれ指定いたします。

日程第3、選任第1号を議題といたします。

お諮りいたします。

紋別市議会常任委員会委員の選任については、議長より指名いたしたいと思いを。

これに、ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田弘明君) ご異議なしと認めます。

よって、議長より指名することに決しました。

総務経済常任委員に佐藤昌樹君を、福祉文教常任委員に石井友也君を指名いたしたいと思いを。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田弘明君) ご異議なしと認めます。

よって、ただいま指名のとおり選任することに決しました。

日程第4、議案第1号及び議案第2号を一括議題といたします。

まず、議案第1号について提出者の説明を求めます。

宮川市長。

○市長(宮川良一君) (登壇) ただいま上程されました議案第1号専決処分の承認を求めることについての提案理由をご説明申し上げます。

本案は、水産加工物の輸出拡大と生産基盤の強化を図ることを目的に、HACCP等の基準を満たすための施設改修及び機器整備に対する北海道の間接補助制度であり、先の第1回定例会において令和2年度補正予算として提案し、議決をいただいております。

今般、北海道からの補助金交付決定が令和3年度になったことを受け、改めて令和3年度補正予算として提案させていただくとともに、円滑な事業実施が図られるよう、交付決定日と同日の6月4日をもって令和3年度紋別市一般会計補正予算(第3号)

として、地方自治法第179条第1項の規定により、専決処分をしたもので既定予算総額286億9,405万4,000円に、4億4,969万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ291億4,374万7,000円としたものであります。

その内容について歳出からご説明いたしますと、農林水産業費であります。水産業費において、H A C C P等対応施設整備対策事業4億4,969万3,000円を追加計上いたしました。これに要する財源といたしまして、道支出金4億4,969万3,000円を追加し、収支の均衡を図ったものであります。

以上、ご報告をいたしますので、ご承認くださいますようお願い申し上げます。(降壇)

○議長(飯田弘明君) これより、議案第1号について質疑を行います。

青木邦雄君。

○13番(青木邦雄君) 一点だけお聞きします。

先ほど市長の説明のとおり、補正予算で7億1,000万円の予算を当初可決しておりますけども、僅か2カ月間ほどの間に3割以上事業費が減っています。これは例えば国や道の財源上の理由からこういう金額になったのか、それとも別な要因があったのかその点だけお聞きします。

○議長(飯田弘明君) 川代水産課長。

○水産課長(川代悦矢君) それではお答えいたします。

事業費の予算の減少の理由についてなんですけれども、当初予算で申請していたところですが建物改修ですとかの一部対象外になった部分とか、補助要件の整理で交付率に変更になったことにより、減少した部分がございます。

○議長(飯田弘明君) 以上で、議案第1号の質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第1号は、承認することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(飯田弘明君) ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は承認することに決しました。

次に、議案第2号について提出者の説明を求めます。

宮川市長。

○市長(宮川良一君)(登壇) ただいま上程されました議案第2号専決処分の承認を求めることについての提案理由をご説明申し上げます。

本案は、新型コロナウイルス感染症対策として、大きく二つの事業から構成されるもので、一つ目は、国が実施する生活困窮世帯への貸付制度に関連し、再貸付を終了した世帯、もしくは、再貸付について不承認とされた世帯を対象に収入要件及び資産要件等を満たした場合、世帯員の人数に応じて支給される給付事業の実施であります。

次に、二つ目でありますが、先の第2回臨時会で承認いただきました新型コロナウ

ウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯への支援に関連し、給付方法等の詳細が未確定でありましたひとり親世帯分以外の支援につきまして、今般、国から詳細等が示されたことを受け、これに対応するとともに、当該国の給付事業に加え、本市独自の上乘せ分を加算して給付する事業内容となっており、可能な限り速やかに支援体制を整えるという主旨のもと、6月14日をもって令和3年度紋別市一般会計補正予算(第4号)として、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分をしたもので、既定予算総額291億4,374万7,000円に3,980万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、291億8,354万8,000円としたものであります。

その内容について、歳出からご説明いたしますと、民生費であります。社会福祉費において、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業204万円のほか、先に給付済のひとり親世帯を対象に、児童1名当たり3万円の市独自の上乘せ支給を行う子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、ひとり親世帯への市独自給付分1,220万1,000円、児童福祉費において、国の給付事業として児童1名当たり5万円の支給を行う、低所得のひとり親世帯以外が対象の子育て世帯生活支援特別給付金給付事業(ひとり親世帯分以外)1,767万7,000円に加え、この国の給付事業の対象世帯に対する市独自の上乘せ支給となります子育て世帯生活支援特別給付金給付事業、ひとり親世帯以外への市独自給付分788万3,000円をそれぞれ追加し、合わせて3,980万1,000円を追加計上いたしました。

これに要する財源といたしまして、国庫支出金1,971万7,000円、繰入金2,000万円、繰越金8万4,000円を追加し、収支の均衡を図ったものであります。

以上、ご報告をいたしますので、ご承認くださいますよう、お願い申し上げます。
(降壇)

○議長(飯田弘明君) これより、議案第2号について質疑を行います。

野村淳一君。

○6番(野村淳一君) どちらも専決処分ということで、生活困窮者に対する支援、あるいは子育て支援は、やはり緊急を要する課題なので専決処分であることには、何も問題はありません。内容についていくつか確認させてください。

最初の生活困窮者自立支援です。204万円ですか、この8世帯というふうに言われています。この根拠と金額の内容について、まず一点教えてください。

それから、子育てに関わるものですが、ひとり親についてはわかりますが、もう一方の子育て世帯に対する児童福祉総務費の関係です。これはまだ詳細が示されていないということで、前は提案されておりませんでした。詳細が示されたということなので、内容についてお示しいただきたいと思います。

○議長(飯田弘明君) 大平社会福祉課長。

○社会福祉課長(大平一也君) お答えいたします。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援給付金であります。対象要件であ

ります総合支援資金の再貸付けを終了した世帯というのは、現在当市においては該当がございません。ですが、総合支援資金を利用されている世帯が、紋別市において、現在8世帯ございまして、今後ですね、再貸付けについて、不承認とされた世帯であるとか、もしくは再貸付けの申請をしたときに、申請に至らないという今後可能性があるということ、こちらの8世帯のうち、単身世帯2世帯、2人世帯2世帯、3人以上の世帯4世帯ということで、合計8世帯を想定してございます。

以上です。

○議長（飯田弘明君） 北西児童家庭課長。

○児童家庭課長（北西忠宏君） お答えいたします。

ひとり親世帯以外の今回の対象の条件が国から示されてございまして、対象者につきましては、令和3年4月分の児童手当または特別児童扶養手当の支給を受けている方、それと、令和3年3月31日時点で、18歳未満の児童、障害児の場合は20歳未満を養育している方ということと、あと令和3年度、市民税の均等割がそれぞれ非課税の方ということで対象になってございます。それと、令和3年1月1日以降の収入が急変し、市町村民税均等割が非課税相当の収入となる方が対象となっております。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 野村淳一君。

○6番（野村淳一君） この生活困窮者自立支援の関係ですが、今は総合支援資金を受けているのが8世帯なので、今、その人が必要かどうかわからないけれども、再申請したときに、それが無理だということになる可能性があるということで予算措置をしたということなんですね。

もう一つね、緊急小口資金の問題があります。これは、緊急小口資金が限度額になっている方というのも対象になっているんじゃないかなという気がするんですが、それとの関係をまず教えてください。

それと子育ての関係ですが、いろいろと要件が今ありました。自分がその対象になるのかどうなのかというのが、理解しているかどうかというのも、いろいろ出てきます。これは申請だというふうに思いますので、それに対して対象になる方に対してどのような周知、あるいは申請手続、今後のスケジュール含めて教えてください。

○議長（飯田弘明君） 大平社会福祉課長。

○社会福祉課長（大平一也君） お答えいたします。

まず、今回の新型コロナウイルス感染症の生活困窮者自立支援給付金につきましては、まず、第1段階として、緊急小口資金をまず活用していただいている方ということで、満額で20万円を活用していただく。その次に、総合支援資金を活用していただくということになっておりまして、こちらの総合支援金についても万度活用していただくと。その上で再貸付けまで就労された世帯に対して該当するという形になってございます。

○議長（飯田弘明君） 北西児童家庭課長。

○児童家庭課長（北西忠宏君） お答えいたします。

周知の方法でございますが、7月の市広報のほうに折り込みチラシを折り込みまして全市民に周知してございます。それと、ホームページ等に今後、掲載する予定でございます。さらに申請が必要でない方と必要な方につきましては、申請ではない方につきましては、児童手当4月分の受給者だとか、特別児童扶養手当の支給者の方については、申請不要で支給する予定でございます。

申請が必要な方、例えば、16歳から18歳までの方の市町村民税均等割が非課税の方等につきましては申請が必要でございます。こちらにつきましても周知徹底を図っていく予定でございます。

今後の支給のスケジュールでございますが、申請が不要となります、先ほど言いました児童手当の支給者、特別児童手当の受給者の方につきましては7月30日に支給する予定でございます。

また申請が必要となります16歳から18歳までの児童を養育している方等につきましては、7月19日から申請のほうを受け付け開始いたしまして、順次、支給していく予定でございます。

以上です。

○議長（飯田弘明君） 以上で議案第2号の質疑を終結いたします。

お諮りいたします。

議案第2号は承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田弘明君） ご異議なしと認めますよって議案第2号は承認することに決しました。

日程第5、議案第3号を議題といたします。

本案について提出者の説明を求めます。

宮川市長。

○市長（宮川良一君）（登壇） ただいま上程されました議案第3号令和3年度紋別市一般会計補正予算（第5号）についての提案理由をご説明申し上げます。

本案は、新型コロナウイルス感染症に関連した予算補正で、認定こども園や学童保育施設における感染防止対策への経費支援をはじめ、個人事業主や中小企業者などを対象とした経済対策支援など、合わせて7件の事業等の補正のため、既定予算総額291億8,354万8,000円に4億3,163万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ、296億1,518万6,000円にしようとするものであります。

その内容について、歳出からご説明いたしますと、最初に民生費であります。児童福祉費において、市内の認定こども園が実施する感染防止対策に対する補助として、新型コロナウイルス対策事業（保育所等対策）分275万円を追加計上いたしました。

次に、衛生費であります。保健衛生費において新型コロナウイルスワクチンの接種事務に従事する職員の報酬や10月以降のコールセンター利用にかかる業務委託料などを追加するため、新型コロナウイルスワクチン接種事業1,779万5,000円のほか、休日夜間急病センターと上渚滑診療所における感染防止対策に必要な備品等の購入経費として、新型コロナウイルス対策事業（診療所対策）分125万円をそれぞれ追加し、合わせて、1,904万5,000円を追加計上いたしました。

次に、商工費であります。新型コロナウイルス感染症により売り上げが減少し、国や北海道の融資制度を利用する事業者を対象とした利子補給費補助金や個人事業主及び中小企業者並びに交通事業者に対する経営支援として、新型コロナウイルス対策事業（経済対策）分2億5,942万9,000円、消費喚起を目的に30%のプレミアム率を付与した商品券を発行する経費として、プレミアム付商品券発行事業1億3,381万4,000円、市内の宿泊施設が実施する個人客向けの宿泊旅行プラン造成に対する補助として、観光誘客対策事業1,500万円をそれぞれ追加し、合わせて4億824万3,000円を追加計上いたしました。

次に、教育費であります。社会教育費において、市立の留守家庭児童園が実施する感染防止対策にかかる備品等の購入経費等及び認定こども園が実施する学童保育事業における感染防止対策への補助として、新型コロナウイルス対策事業（学童保育対策）分160万円を追加計上いたしました。

以上が、歳出予算の概要であります。これに要する財源といたしまして、国庫支出金1,465万7,000円、道支出金4,706万4,000円、繰入金3億6,000万円、繰越金991万7,000円をそれぞれ追加し、収支の均衡を図ったものであります。

次に、第2表債務負担行為補正につきましては、コロナ対策制度融資資金利子補給費補助金の追加であります。

以上で、提案理由の説明を終わりますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。（降壇）

○議長（飯田弘明君） 質疑を行います。

加藤裕貴君。

○12番（加藤裕貴君） 一点だけ、新型コロナウイルスワクチン接種事業について伺いたいと思います。

先日から基礎疾患のある方の申込みも始まっていると思いますけれども、この中のその他新型コロナウイルスワクチン接種経費の部分で、これによって例えば、これまでどれぐらいの方が接種されて、どれぐらいの進捗で、こういったような計画かということの今までの部分と、この予算についてこういったような効果があるのかということをお聞かせください。

○議長（飯田弘明君） 坂井新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事。

○新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事（坂井利孝君） 接種者数について、お答

えいたします。

まずは、速報値なんですけども、7月2日の終了段階で高齢者の1回目の方は、6,567人の方に接種を行っております。そのほかで、端数調整だとか、あと高齢者施設の従事者等に接種等を行ってまいりました。その方々も含めると集団接種で6,787名の方に、1回目の接種が終わっていきまして、2回目につきましては、1,901名、1回目の高齢者の接種率につきましては、87.3%、2回目につきましては、23.9%というような状況になってございます。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 加藤裕貴君。

○12番（加藤裕貴君） 1回目の方に関しては、かなりの割合でもう接種されているなという印象なんですけども、今まだ始まったばかりなんですけども、基礎疾患のある方の接種の申込方法等が、ホームページには掲載されているんですけども、なかなか、まちでお話を聞くと浸透してないという部分があります。

接種定義の中には、もしかするとそういったような、即急周知するような部分の定義も含まれているのかなというふうに、ちょっとわからないんですけども、今後、広報等も含めて、1番自己申告しなくちゃいけない基礎疾患の部分に関しては、特になかなか浸透してないと思うんですけども、今後、SNSやホームページを通してもっとわかりやすく、こういった経費の中で、告知していくような予定とかはあるんでしょうか。

○議長（飯田弘明君） 坂井新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事。

○新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事（坂井利孝君） 今回の補正予算の内容につきまして、今、議員がおっしゃられた広報の周知に関する経費につきましては、直接の経費については含まれてございませんけれども、今までもホームページ、地元新聞、あと広報紙に皆さんに周知できるように載せてきたり、周知に努めてまいりましたので、今後も、これらをベースにさらに皆さんに周知できるように努めてまいりたいと思います。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 野村淳一君。

○6番（野村淳一君） まず、最初にそのコロナのワクチン関係なんですけども、今も議論がありました。医療従事者派遣との関係で605万1,000円が計上されています。これ常時お医者さんそれから看護師さんが配置されていかなければなりません。今その現状を含めてですね、この予算の内容についてお示しいただきたいと思います。

それから二つ目ですが、これらの経済対策で事業者には800事業所に、これ2億4,000万円。単純に考えて1社30万円かと思ったら、そうではなさそうな話をちらっと聞きました。簡単でいいです。内容を教えていただきたいと思います。

そして同時にですね、実はこれ2月にも同じように経済対策が行われました。本当

に事業者の皆さん方は、喜んでいきますし紋別市の機敏な対応に評価したいと思います
が、2月に行われた経済対策において、初めて市税を滞納している方は排除するとい
う文言が入りました。この理由と内容を教えていただきたいのと、今回も同じような
措置がされるのか、これを教えていただきたいと思います。

それから、プレミアム付商品券です。これ自体に私は反対をするものではありません
が、結局これは、手元にお金がなければ買うことができない事業です。もともと困
窮者の皆さんには手が出ないんです。これが本当に、いや、もちろんこれが市場に出
れば、経済であれば、効果はあることは間違いありませんが、格差につながるのでは
ないかという懸念を持ちます。市の考え方を教えてください。

○議長（飯田弘明君） 坂井新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事。

○新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事（坂井利孝君） 医療従事者派遣医療機関
補助金についての中身なんですけども、こちらの目的としまして、新型コロナウイルス
感染症に係るワクチン接種につきまして、令和3年7月末までに高齢者向けのワク
チン接種を得ることができるよう、時間外や休日の医療機関からワクチン接種を行う
集団接種の会場に医療従事者を派遣することで、ワクチンの接種体制を強化すること
を目的としております。

補助内容につきましては、令和3年4月1日から7月末までの間に、医療機関の時
間外や休日の時間帯に、ワクチン接種を行う集団接種会場である、ローヤルパレスと
かですね、そこに医師と看護師の医療従事者を派遣した場合に派遣元の医療機関に対
し補助するものでございまして、医師につきましては1人1時間当たり7,550円、看護
師につきましては1人1時間当たり2,760円というような内容になってございます。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 暫時休憩いたします。

午前10時34分 休憩

午前10時35分 再開

○議長（飯田弘明君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

高橋商工労働課長。

○商工労働課長（高橋秀明君） お答えいたします。

まず、新型コロナウイルス対策事業の緊急事態宣言影響緩和補助金のほうなんです
が、新聞報道等で30万円掛ける800事業所ということで出たと思うんですが、それはあ
くまでも予算上の算定の話であって、最終的な中身のほうは、10万円から40万円の間
というところでご理解していただければと思います。その詳細につきましては、まず
今年度の5、6月の売上げの平均と昨年もしくは一昨年の5、6月の売上げの平均を
比較して、まず20%以上減少している事業所が対象となります。事業所に対しまして、

その差ですね、平均の差で8万円だった場合は、下限が10万円ですので10万円、40万円を超えるような事業所でしたら40万円というところで整理させていただいております。

それから、市税の滞納の話ですね。前回の支援金のときに、確かに滞納がないことというところで、要綱の中に入れさせていただいております。それにつきましては、昨年度、最後の支援金だったんですが、1年を通してですね、120万円を超えるような最大事業所が多くなってきています。市民感情というかですね、要望の中からも、滞納があるないっていうところで、我々のところにも苦情が入っていたところです。そういった要件の中で、前回やるときは、税に滞納がないことというところで整理させていただいたんですが、ただ、滞納があるからといって、決して支出しないという意味ではなくて、きちんとですね、税務課のほうと納税誓約書を結んでいただいて、支出するというようなお約束の中で支出しておりますので、支出していない事業所があったっていうところはありません。今年についてはですね、そういった要件は今回、今年度は初めてですので、そういった要件は入れておりません。

続いてですが、プレミアム商品券の困窮者の関係なんですが、議員おっしゃるとおり確かに買うことができない方がいらっしゃるのかもしれませんが、それに合わせて、先ほど専決処分いただいております福祉サイドの支援金とか、そういったことも用意しておりますので、我々としては、そちらも含めて今回のものが対象になればというふうに考えております。

以上となります。

○議長（飯田弘明君） 野村淳一君。

○6番（野村淳一君） 最初にワクチン接種の医療従事者の金額ですが、医者で7,550円でしたか、看護師で2,760円、この金額っていいのは、妥当なんですかいう表現がどうかかわかんないけれど、標準なんですか。自治体で決められるんですか。ちょっとその根拠について、高いのか安いのかちょっと私わかりませんが、こんなもんなのかと思ったりします。とにかく医者が少ないので、相当上げている自治体もあると聞いておりますが、その辺のことについて見解をお示してください。

それから、事業所に対する支援金の問題です。市税の滞納の問題でした。実はこの問題は、2月、3月に行われた支援事業で実は一部に混乱がありました。結局こういう条項が要綱に入っているがために、支援金を諦めた方もいらっしゃる。これについては、今回は入らないということでしたので、安心をいたしました。市税の滞納とコロナ禍で事業を継続していくという皆さん方の思いとは、次元が違う話です。一緒にすることがあってはならないと思います。これはこれでいいです。また改めて、この問題を取上げたいというふうに思います。

ただ、プレミアム商品券ですよ。やっぱり課長がおっしゃったのは分かる。紋別も昨年プレミアム商品券やったんです。そのときはね、特別給付金、定額給付金10万円が出たんですよ皆さんにね。なので、これができるって判断、市長もそう判断され

たと思う。今回子育て支援ですよ。さっきの補正じゃないけど合わせたって、500世帯あるかないかなんですよ。もうそれも一つの契機にはなるんだけど、何かもうちょっとね、困窮世帯に何らかの対策が必要ではないのかという意識を持ちます。そのことは、今この予算の審議では、なかなか無理だと思いますから、問題提起をしておきたいと思います。答弁は要りません。ワクチンだけをちょっとください。

○議長（飯田弘明君） 坂井新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事。

○新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事（坂井利孝君） お答えいたします。

こちらですね、お医者さん7,550円、看護師さん2,760円というのは、国等から示されている金額でございます。例えば、集団接種の場合につきましては、市とお医者さんの間で1時間当たり1万3,500円とかですね、そういう契約を結んでいます。あと、市内の病院とかで、自分の病院で個人接種とかやった場合につきましては、1件当たり2,070円だとかというような金額が設定されてございますけども、こちらの7,550円につきましては、あくまでも最終的には医療機関に支払うような形になりまして、65歳以上の高齢者の方の接種が進みやすいように、病院が派遣しやすくなるような、そういう考えのもとで支払われるものでございます。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 田中勝彦君。

○8番（田中勝彦君） 観光誘致対策事業についてお尋ねいたします。コロナ対策ということで新たな旅行パックをつくるのかなと思われるんですが、こちらのコロナ対策ですね、どこに対してのコロナ対策なのか。また、旅行パック自体の販売ですね、いつまでを見積もって1,500万円としているのか、お聞かせください。

○議長（飯田弘明君） 兼田観光連携室参事。

○観光連携室参事（兼田秀哉君） お答えいたします。

まず、どちらのほうに向けての支援かということなんですけども、支援に対しましては、市内の宿泊施設に対しての補助になっております。それと、期間におきましては、今、一応期間は補助金の額があるまで続けたいと思っておりますので、期間のほうは設けてございません。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 田中勝彦君。

○8番（田中勝彦君） 観光施設の入場券等々のこともございましたので、観光施設も含まれるんじゃないかなと思われるんですけども、1,500万円がなくなるまでとお話ございました。ホテルと観光施設を利用した場合、上限が5,000円までということですね。ということは、対象が3,000人ということになります。宿泊施設のみ利用して、観光施設に行かれない方だったら5,000人分がございまして。こちらについて、地元の紋別観光振興公社だけの販売では、きっとこの人数はいかないと思うんですが、どこで、販売予定でございますか。

○議長（飯田弘明君） 兼田観光連携室参事。

○観光連携室参事（兼田秀哉君） お答えいたします。

まず、施設だけではなくてホテルのですね、例えば1泊2日の独自の新規のプランを造成した場合に、例えば、夜の料理に地元食材をプラスした宿泊プランとか、あるいは今、議員おっしゃったように、市内の観光施設を回れるセット券をつくった場合に支援の対象になるんですが、今、お話をしました夜の一品料理を付け加えた場合が上限が1人3,000円、そして、観光施設を回るセット券もプラスした場合は、1人上限3,000円まで支援する予定でして、夜の一品料理と、あと観光施設セット券をつけた場合が1名5,000円になりますので、今、対象人数なんですけども5,000円掛ける3,000人ということで、1,500万円ということで、支援の予定をさせていただきます。

あと、観光振興公社のみじゃなくて、エージェンツなんかにもホテルが独自に、このプランを造成しているっていうことも伝えて、一緒に販売っていうことも考えてございます。

以上でございます。

○議長（飯田弘明君） 以上で質疑を終結いたします。

採決いたします。

議案第3号は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（飯田弘明君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

以上をもって、本臨時会に付議されました案件は全部終了いたしました。

令和3年第3回紋別市議会臨時会はこれをもって閉会いたします。

午前10時45分 閉会

以上、会議録の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 長

署 名 議 員

署 名 議 員